

## TDK株式会社が発行する 「サステナビリティ・リンク・ボンド」への投資について

大東京信用組合（理事長 内田通郎、以下「当組合」）は、TDK株式会社（以下「本法人」）が発行する第9回サステナビリティ・リンク・ボンド・無担保社債（以下、「本債券」）への投資を決定いたしましたので、お知らせいたします（本債券発行日 2021年12月2日）。

「サステナビリティ・リンク・ボンド」とは、あらかじめ定められたサステナビリティ/ESGの目標（SPTs）を達成するかどうかによって条件が変化する債券のことで、調達資金が必ずしも特定の資金使途に限定されません。

本法人は、本債券の発行にあたって、「サステナビリティ・リンク・ボンド・フレームワーク」を策定し、株式会社格付投資情報センター（R&I）より、第三者評価として国際資本市場協会（ICMA）の「サステナビリティ・リンク・ボンド原則 2020」に適合している旨のセカンドオピニオンを取得しております。

また、本法人は、SPTsを①2025年度におけるCO<sub>2</sub>排出量の売上高原単位を2014年度対比で30%改善、②2025年度におけるCDP気候変動の最終スコアにてA/A-を維持、③2025年度における再生可能エネルギー電力導入率50%を達成、の3つを選定し、3つのSPTsのうち2つ以上未達の場合、環境保全活動を目的とする法人等に対して、社債発行額の0.3%相当額の寄付を行うこととしています。

当組合は、今後もESG投資を通じて、SDGsの達成に貢献する事業を資金面からサポートし、持続可能な社会の形成に寄与すべく社会的使命・役割を果たしてまいります。

以上